

四万十町教育委員会会議録（令和8年4月定例会）

1. 日 時 令和8年4月8日（水）午前9：00～午前9：45

2. 場 所 四万十町役場本庁東庁舎 2階 町民活動支援室

3. 出席者

教育長職務代理者 谷口和史

次 長 川上武史

教育委員 横山順一 野中裕子 西谷史

事務局 学校教育課長 橋本剛臣

学校教育課 副課長 藤原直美 高校振興対策監 中井智之

係長 都築桂、横山光一

生涯学習課 課長 今西浩一

対策監 浜口千茶

教育研究所 所長 野村泰子

4. 傍聴者

0名

5. 日 程

（1）開会

（2）教育長職務代理者あいさつ

（3）会議録署名委員の指名（横山委員）

（4）議題

① 議案第1号 米奥小学校学校運営協議会委員及びアドバイザーの委嘱又は任命について

② 議案第2号 四万十町教育委員会の所管に係る個人情報の保護に関する法律等施行規則について

（5）協議事項

（6）報告事項

（7）その他

① 今後の日程について

6. 議 事

谷口教育長職務代理者： それでは議事に従い会議を進めたいと思いますのでよろしくお願いします。本日の会議録署名委員は横山委員にお願いします。それでは4の議題からいきたいと思います。議案第1号、米奥小学校学校運営協議会委員及びアドバイザーの委嘱また任命について、事務局より説明をお願いします。

（事務局より、「議案第1号米奥小学校学校運営協議会委員及びアドバイザーの委嘱又は任命について」を、説明する。）

谷口教育長職務代理者： ただ今、事務局の方から説明がございましたが、この説明に関して何かご意見がある方は挙手にてお願いします。ないようですね。

横山委員： 意見ではないですけど、区分が変わった方がおりますよね。さっき言った武田さんとか村上さんとか区分は変わってるけど、特別変わらなくてはいけなかった事情とかはあまりない。

川上教育次長： あまりないですね。武田さんの場合はさっきも申し上げたように PTA の役員というところもあって、保護者の数がしれてますので、人数が少ないので、同じ方がいろんな役を掛け持ちしているというようなことでなっているということですね。特段そこで区分をあえて変えたという訳ではなく、たまたま変わったとご理解いただけたらいいかと思います。

谷口教育長職務代理者： よろしいですか。そうしましたら異議なしということで次に移りたいと思います。追加項目で議案第 2 号の四万十町教育委員会の所管に係る四万十町個人情報の保護に関する法律施行規則の制定についての説明を事務局よりお願いします。

(事務局より、「議案第 2 号四万十町教育委員会の所管に係る個人情報の保護に関する法律等施行規則について」を、説明する。)

谷口教育長職務代理者： 今、説明された四万十町教育委員会の個人情報の保護に関する法律等施行規則の制定についての何かご意見がございましたら挙手にてお願いします。ちょっと聞いてみたい事とかないですか。こういうことで制定されたということで理解してもらって、その都度あれば規則を見て質問するということでよろしいですか。はい、ということで別に質問はないということですので次にいきたいと思います。5 番目に協議事項とありますが、何かありますか。

川上教育次長： ありませんが、報告をさせていただきたいと思います。

谷口教育長職務代理者： はい、6 番目の報告事項に移ります。

川上教育次長： 3 月議会の当初予算の時に、少しお話もさせていただきましたけど今年度、去る 3 月に見付保育所が閉所になったことに伴いまして、今現在見付に通ってた子どもさんはくぼかわ保育所をメインに、一部東又、松葉川に入所し、皆さん第一希望の保育所に入られてるので、受け入れとしては特に大きな混乱はない状態で今動いていると。と同時に前々から申し上げておりました窪中の校舎の老朽化の問題が非常にありまして、一昨日も窪中の方に別途用事がありまして行きましたけど、雨漏りがしてたりとか鍵が開かないとか諸々色々な不具合があります。3 月議会の時に予算審議の中でご質問もお受けしましたが、見付保育所の件もあって、そもそも統合にあたっては、見付保育所の閉所にあたっては統合保育所を新たに新設すると、くぼかわ保育所の方の老朽化も著しいということもあって、そういった話もさせていただいたと思いますけども、向こう 5 年を目途にという事で保護者の皆様にはご説明もさせていただきましたが、その後窪中の老朽化が非常に著しいという事もあるって、窪中は窪中、保育所は保育所と考える方法もありますけど、やはり窪川の街分の中で今あるものですので整備場所、特に保育所の方はかなり敷地が狭いということもあって、出来ないことはないですけど送り迎えの問題とかそういった課題もあるというところもあって、統合保育所については新たな場所で整備をという事を念頭に色々と考えていたんですが、中学校の

事もあり、併せて窪小も漏水とかが起こって来ているということで、全体的に窪川の街分、郷分にある教育施設の整備の方針というか構想みたいなものを一定作っておかないと、向こう30年後を見据えた児童生徒数の推移を勘案して作らないと中々難しい。今後、児童生徒数がどんどん減っていく中でどういう形が一番望ましいのかというところも考えて整備をしなくてはいけないというところもあって、それをやるのは行政側だけで一方的にこう決めていくのはかなり厳しいということもあり、今年度1年かけて、コンサルも入れて用地の調査とかもしつつ、望ましい形とはどういう形かというのを地元の住民方も、もちろん保護者もそうですけど入れて、協議をしながら作り上げていきたいなということがあります。予算の方は一定額を予算化しましたので、早いうちに検討委員会を立ち上げて、コンサルさんを入れながらしていくというのが今年度の大きなミッションになって来ます。当然その中には、検討委員の中に教育委員さんにも入っていただくのかどうかというのは今後の課題ですけど、一定その検討委員会の審議内容というかお答えはこの場で随時共有はさせていただきながら一番望ましい形を作っていきたいなと思っています。それを念頭に置いておいていただきたいと思います。議会の答弁の中ではちょっと松葉川の事も触れてはいます。松葉川保育所も老朽で、そこは松葉川保育所もこちらに合わせるのかという話はまた別問題として、そこも踏まえて考えるということですね。いずれにしても中学校になったら松葉川の子も窪中に来ますので、そこらも踏まえてちょっと考えなくてはいけないなというところです。施設が50年ぐらい経って来た事もあって、それと今の園児と児童生徒数の動向を見ると、大きく転換する時期が来たかなという事で、かなり深めの議論をしなくてはいけなくなってくると思いますけどご協力をよろしくお願いしたいと思います。以上です。

今西生涯学習課長： 補足です。保育所の方は新年度から大きな異動がありました。この月曜日に入園式がそれぞれあって、しっかり今の現状で始まったのはここ一日、二日なので、どうなのかなというのはありますけど。4月1日から「おかまい保育」の方も始まっておりまして、実際の運営の方は保育士の方から子ども達はそれほど不安もなく、元気に過ごしているとお聞きしていますし、一部の保護者さんからは「以前の保育所の先生が残ってくれているんですね、安心しました」みたいな声掛けもいただいているという事で、今の現時点では特段大きな問題になっているような事はないという事で、入園式の後の保護者懇談会とかでもう少し、職員との話なんかを持てたらいいかなという事で現在進めているという事を報告させていただきます。

谷口教育長職務代理者： はい、今、次長と課長の説明がございました。学校の総合的な展望、あるいは保育所の老朽化による再編成ですか、そういう事について何かご意見がございましたら挙手にてお願いします。

西谷委員： 私も入園式にひかり保育所に出席して来ました。今までの児童福祉協会のやり方とか準備物とか色んな物を比べたらやはり違う部分はあったりもしましたが、何か雰囲気もすごく良くて、一生懸命で皆さん緊張もしたりプレッシャーの中、町立さんの会計年度の方とかもすごく緊張してるし、どうなるか心配だという声もあったんですが雰囲気も良くて、私もエプロンをさげて手伝いながら参加したんですが、いい感じでスタート出来てるんだなと思った事でした。良かったなと思いました。学校の事もやはり周りでも声が聞こえるので、改善していく話が早

速出来る事が良かったなと思って聞いた事でした。

谷口教育長職務代理者： 横山委員、どうですかね。

横山委員： 今の話しでちょっと聞きづらいところがあったんですけど、保育所は大きな異動があって、くぼかわ保育所とか松葉川とか東又とかそういった所に、あまり混乱なく今スムーズにスタートしているということですごく安心もしているし、保護者の協力とか色々あって何かスムーズにいつてるなど、すごくいい事だなと。良かったなと思います。

谷口教育長職務代理者： はい、現状としてはスムーズに運営がなされているという事で。

今西生涯学習課長： 全体としては、ちょこちょことしたイレギュラーは確かにやってみたら起こる事はあるので報告は上がって来ますけど、それなりに皆さん協力いただいて今のところ対応出来ていますし、今後もうまくやって行けるんじゃないかなという感じではあります。

谷口教育長職務代理者： やはりインフラは50年やね。どうしても耐用年数は。何もかにも。

川上教育次長： ちょっと窪中の老朽具合が中々著しくて、是非今度6、7月にまた。学校訪問があるのでその辺も注目しながら見ていただいたらいいかなと思います。

横山委員： あの、学校の方の関係ですよ。新任者とか転任者、加配教員とか講師対応のところとかはもう無事に問題なく着任しているんですよ。

川上教育次長： 予定していた人事異動に伴う教職員は全て配置されています。講師についても全員予定されていた方が手続きをとって着任はしています。一部高校への乗り入れとかの部分で臨時免許状とかを取得しなくてはいけない講師の方がいらっしゃるので、そういう方については今、免許の出願中ということで、来週ぐらいにはそれも発行になるのかなという感じなので、そうすると大体当初予定されていた人事異動に伴う人員配置は完了するということで、計画通りに一応授業の方は出来るんですけど、元々の計画が結構ぎりぎりの人員配置でやっている状況があるので、今年度3月の人事異動の学校長への内示の朝、電話が掛かって来まして、課題解決型応援加配という制度を県教委さんが新たに設けて、学校の課題を解決するために原則各校1名加配を認めましょうと。ただその加配する教員を学校が見つけたらという。人を見つけたら付けましょうみたいなお話ですねというのが始まりまして、原則学校の教職員免許を保持している方で現行を講師登録している方とかしてない方とかいう事なので、だいたい教員OBの方ということで。学校の方も人は欲しいですので、是非、そういう方がいらっしゃったらですね、ご紹介いただくと有難いなど。教員免許持ってて、今現状学校の方には行ってないけど、行ってもいいよという方がいらっしゃったら。一定そこの申請をしたいという事で、大正中と仁井田小は今申請中です。あと、2、3探すといって動いてるところもあります。田野々も出して来そうに言ってたです。まあ、学校の課題がどんな課題があって、どういう人をあてて、どうそこの課題を解決するのというのが基本になるので。結構急に始まった制度なので、人が見つかるか問題が最大の点です。

谷口教育長職務代理者： それは手続きとしては各学校が探して来て教育委員会に言って来て、教育委員会が申請するという事か。

川上教育次長： そうですね。学校の計画書を出してもらようになりますが、簡単なワンペーパーですけどね。それで出して来ていただいて、中学校が難しいのは教科担任なので誰でも良くないというところが難しいですね。小学校は割とオールマイティ

にやるのでいけるんですけど。中学校はその辺がネックですね。例えば窪中辺りは英語とかが課題なんですけど、英語の免許を持ってて今、学校に行っていない教員免許を持っている人って、まあ限定されるんで、早々見つかりません。

谷口教育長職務代理者： はい、他にないですかね。ないようでしたら次に移りたいと思います。

中井高校振興対策監： かまいませんか。高校の方の取組みとしてですけども、昨年度フロンティア入試という新しい入試制度もあって、いわゆる入試制度の前倒しで入って来た人とかの効果もあってか、冒頭職務代理の方からもありましたけど、窪川高校で39名、四万十高校で26名の入学者がありました。高校自体は令和7年度に県教委の方から出されました高校の振興再編計画の前期計画が、令和7、8、9と3年間の生徒数確保の取組みをして、令和10年度にそれが継続すべきかあるいは統廃合を含めた存続についてを検討すべきかというのが10年度に諮られます。ですので今年度、39名と26名入りましたけれど、努力数値としましては窪川高校は41、四万十高校は25以上になっているのと、地元中学校からの進学率というのが窪川高校でいえば、窪川中学校の生徒の5割が窪高に進学する、四万十高校につきましては大正、十和中学校の7割と結構ハードルの高い目標が設定されています。必ずこれをクリアしないといけないという訳ではないんですけども、生徒数の数から見ても、特に四万十高校の方、大正、十和中学校から7割の生徒が来ても、さっき言った努力目標25には届きませんので、やっぱり県外生募集というのを継続する必要があるかなと。あわせて窪川高校の方も今年度野球部の方の取組みとして町外から入学した生徒、本年度は13名来てもらっておりますけども、そういった生徒たちの受け入れ態勢の整備というところも課題と言いますか、四万十高校でいったら寮がありますけども、すでに満杯状態なんでこれ以上、例えば26名全員を県外生で埋めるというのは出来ません。窪川高校につきましても、寮の方に関してきちとした寮としては今整備されておられません。このあたりが後々課題になって来るかなというところで考えてます。一方、高校のそれぞれの取組みにつきましては、窪川高校でいったら先ほどの野球部もそうですけども、DXの取組みとかデジタルラボというところで最先端の情報機器とか取り揃えていますし、コースとして情報という部分を追加されております。今年度は2年に進級した生徒が16名しかいないのと、情報を選んでいる生徒が本年度はいないんですけども、今後そういった情報系のところの強みとして売り出して生徒を確保していくというところを考えておりますし、四万十高校におきましても、従来ある自然環境コースというところを少しより色を出して行くために、今年度から日本蜜蜂の養蜂を中心として、蜂の飼育をするということは蜂蜜も採れますし、加工品づくりであったりとか、出来た物を販売するといった商業系の方なんかも知識として必要になって来るという事で、科目横断的な取組みとしてやって行くというのを売りに出して行くという事で、それぞれの特徴を出してやって行くという風な事で考えております。これらも含めまして、地元の小中学生及び保護者へのPRというところもこれから大事になって来るかなという事もありまして、自分の立場ではありますけども、従来人材育成推進センターでやっていた業務を教育委員会に関して高校振興対策監としてやって行くようになっております。あと補足があればお願いします。

川上教育次長： 野球部はどんなになってるか。

中井高校振興対策監： 野球部は、13名で活動しておると。当面は窪川高校で総合文化スポーツ同好

会という何でもやりたいものがあつたらやりますよという同好会があります。まずはここに所属して一ヶ月ぐらい練習状況とか見た上で、生徒総会においてまず高校の中で部に昇格させるという事があります。従来であれば1年間ぐらい活動の様子を見てというところもあるんですが、出来る限り早めの甲子園の予選とかにも出たいという事もありますし、取組み自体は昨年度からこういった事をしたいと要望も出しておりますので、おそらく5月の連休前後に部に昇格していく予定にはしております。部に昇格したらすぐ高野連に登録して、出来れば夏の6月の大会に間に合うようにという事しております。練習環境につきましても、窪川高校のグラウンドの整備の方を県教委の方でやっていただきまして、また金上野のグラウンドの方も使えるようには整備をしておりますので、今両方を活用して練習をしております。また寮としたところ、短期滞在型宿泊施設、水車亭の裏にあるんですけども、そこに宿泊してもらって生活をこの4月5日から開始しております。今のところ寮生活においても全員が1年生ということもあるので、初々しい形ではやっております。問題は特段ないというふうには聞いております。食事の方につきましては日曜祝日も含めてで、一応毎日朝と夜提供していますし、昼は基本的には給食を食べるというような内容にしております。四万十高校も寮としては皆で取組んでやっております。

谷口教育長職務代理者： 他にないですか。そしたらその他に移りたいと思いますがよろしいですか。それでは日程に入りたいと思います。4月22日の水曜日に高岡地区市町村教育委員会連合会定期総会、須崎市内であります。5月12日の火曜日が5月の定例委員会です。6月にいきますと、6月2日火曜日に6月の定例委員会となっております。6月5日の金曜日に令和の授業DXの公開授業となり、6月、7月は学校訪問という事で、また詳しい内容は6月の定例会等で発表できると思います。この予定について何かご意見ございますか。ないですね。他にないようでしたら、今日はこれで終わりたいと思います。お疲れ様でした。

閉会 9時45分